

講義名	ストラテジック・マネジメント				
担当教員	瀧本 隆弘 / 青木 良三				
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		授業形態	講義	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考	
主題と概要					
・本講義の戦略経営論は、経営戦略論と経営組織論の応用論に当たります。 ・戦略的な経営を行い、良い成果を上げるには、企業を巡る環境をしっかりと分析した上で経営戦略を策定し、その戦略を遂行できる柔軟で活かに富んだ組織を作り上げておく必要があります。 ・本講義は、戦略経営の面で成果を上げた企業を事例として取り上げ、紹介するものです。 ・ひとつの事例に関して経営戦略面を青木が、経営組織面を瀧本が担当します。					
到達目標					
・学生は、本講義で提供される知識を習得することによって、企業行動を経営戦略面と経営組織面から評価でき、レポート等にまとめることができるようになります。					
提出課題					
新型コロナウイルスの蔓延状況に応じて、対面型講義からオンデマンド型講義に変更があった場合、提出課題も変更される可能性があります。後期開講科目は現時点では、対面型講義です。					
・提出課題はなしです。 ・コピペが多いので、提出は任意とします。 ・レポートの内容が良ければ、成績評価に反映することがあります。コピペの場合、零点とします。 ・レポートを提出する場合は、「関心のある企業の経営上の特質について、経営戦略面と経営組織面から整理し、レポートにまとめなさい」というテーマで書いてください。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック					
新型コロナウイルスの蔓延状況に応じて、対面型講義からオンデマンド型講義に変更があった場合、提出課題のフィードバックの方法も変更される可能性があります。後期開講科目は現時点では、対面型講義です。					
・対面型講義では課題提出は任意ですので、個別に電子メールでのやり取りになります。					
評価の基準					
新型コロナウイルスの蔓延状況に応じて、対面型講義からオンデマンド型講義に変更があった場合、評価方法も変更される可能性があります。後期開講科目は現時点では、対面型講義です。					
・レポート試験とします。 瀧本、青木がそれぞれレポート試験を行います。 したがって、レポートは2本となります。 それぞれ配点は、50点です。					
・なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、講義形式の変更があるかもしれませんが、その場合でも成績評価方法は変更しません。					
履修にあたっての注意・助言他					
・私語等によって他の受講生に迷惑をかける学生には退出を命じます。その指示に従わない場合は、減点します。					

教科書				
.テキストは使用しない。.				
プリント資料及び参考文献				
・授業で使うプリントをRYUKA Portal からダウンロードできるようにします。必ず資料をダウンロードして予習の上、授業に出席するようにしてください。				
授業計画				
1.戦略経営について（戦略と組織の関係） 2.多角化戦略と事業部制組織 松下電器産業（現パナソニック）の成長戦略 3.多角化戦略と事業部制組織 松下電器産業の事業部制組織導入 4.リストラとクロスファンクショナルチーム 日産自動車の経営危機とリストラ 5.リストラとクロスファンクショナルチーム 総研リ組織の経営危機とクロスファンクショナルチーム 6.戦略としての環境経営と社会貢献を目指す組織 パタゴニアの競争戦略と環境戦略 7.戦略としての環境経営と社会貢献を目指す組織 パタゴニアの社会貢献を目指す組織 8.戦略の遂行と人に優しい組織 サウスウエスト航空のコスト・リーダーシップ戦略 9.戦略の遂行と人に優しい組織 サウスウエスト航空の人に優しい組織 10.グローバル化を軸とした企業成長 ユニクロの世界市場進出戦略 11.グローバル化を軸とした企業成長 グローバル化を目指す組織戦略と独創的な経営理念 12.大手流通企業の戦略と組織 戦時的な観点から見たセブンのアイホールディングスのグループ経営 13.大手流通企業の戦略と組織 セブンはアイホールディングス 新しい社会的価値の創造を推進する組織 14.ネット時代の戦略と組織 楽天 ポイントを主軸としたグループ経営の発展 15.ネット時代の戦略と組織 楽天				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
☐ ア：PBL（課題解決型学習）		☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク		
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク		
☐ キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
・教科書がないので予習しづらいと思いますが、シラバスに書いた企業を探り上げますので、それら企業に関する新聞や雑誌の記事には目を通すようにしてください。 ・復習は、ダウンロード資料を読んで、経営戦略論や経営組織論の用語を中心に意味を理解し、説明できるようにしてください。 ・予習に2時間、復習に2時間を目安にしてください。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
・この講義では、様々な業界における企業経営の仕組みや組織行動の現状分析を行い、経営理論に基づきながら仮説、検証を通して答えを導き出す問題解決型思考を養います。これにより、企業や組織のリーダーに求められる、企業経営の具体的な改善案や解決策の提案ができるようになります。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
・授業中、質問をしますから、学生は積極的に発言するようにお願いします。				
実務経験の有無及び活用				
担当者青木については、実務経験あり。1979年から97年まで銀行に勤務し、融資やファンド運用を担当した。融資の観点から、企業経営を分析することができる。 担当者瀧本については実務経験なし。				
備考				
新型コロナウイルスの蔓延状況に応じて、対面型講義からオンデマンド型講義に変更があった場合、不明な点は担当教員に必ず問い合わせてください。状況に合わせて対応をお願いします。 対面型講義の場合は、以下のオフィスアワーを利用してください。 オフィスアワー： 青木 木・金 12：10～12：50 瀧本 月・水・木 12：10～12：50				